

南嶺・全山トレイル縦走



お地蔵さんの向こうに吉良ヶ峰

2023年 12月17日(日) 天候：晴れ 参加者：1名

場所：南嶺：仁淀川登山口～春野競技場～横浜

行動：自宅8:00 → 春野競技場8:50 → 9:40仁淀川 → 登山口9:55 → 吉良ヶ峰10:30 →
11:15荒倉神社11:20 → 11:50 161mピーク11:55 → 国道56号線登山口12:15 →
12:45根木谷山 12:55 → 13:50三滝ヶ森14:00 → 登山口14:15 → 14:30春野競技場14:50 →
15:30自宅

以前より有志山行などで計画していた南嶺全山縦走を個人山行で挑戦してきました。結果、残念ながら今回も柏尾山手前でリタイア、下道を返って来ることになりました。この季節は日が短いので孕東登山口までたどり着くのは至難の業です。



・自宅横から宇津野山



鷲尾山



・横浜新町から烏帽子山

全山縦走は達成できませんでしたが眺めるだけは全山眺めてきました。南から見た南嶺の山々を紹介します。名付けて南嶺セブンマウンティング、東から宇津野山256.4m、鷲尾山306m、烏帽子山359.1m、柏尾山323m、三滝ヶ森242.6m、根木谷山246.1m、吉良ヶ峰249.5mの山々です。



・春野競技場から柏尾山



・競技場西口の紅葉

南嶺の山々を眺めながら仁淀川登山口に向かいます。春野競技場補助グラウンドから見上げる柏尾山、アンツーカーの赤と山の緑が相まって私の一番好きなポイントです。



・春野から三滝ヶ森方面



・根木谷口から根木谷山

競技場を過ぎると春野の田園風景が広がり、お地蔵さんなども迎えてくれて退屈しません。水路横の歩道は歩く（走る）のに丁度です。アジサイのころは良いことでしょう。



・お地蔵さんの向こうに吉良ヶ峰



・仁淀川堤防から吉良ヶ峰（右端）

仁淀川に近づいてくるのですが堤防に出るのが一苦労です。畑の間の道をくねくねと進みやっとの思いで仁淀川へ、景色が開け川の向こうに清滝山だと思おうのですが山なみが眺められます。



・仁淀川の向こうに清滝山・石土ノ森



・仁淀川登山口



・吉良ヶ峰頂上



・頂上横から北の山並

仁淀川横の登山口から今日の初ピーク吉良ヶ峰に登ります。鉄塔のある初めのうちは道もそこそこですが鉄塔を過ぎ、頂上辺りになると道らしい道は無くなります。幽かな踏み跡をたどり無理やり登ると吉良ヶ峰頂上到着、頂上は景色がありませんが少し進むと北側の景色が開けます。



・ 鉾山手前から吉良ヶ峰



・ やっとの思いで荒倉神社

ここからが今日最大の難関、荒倉神社までの下りです。ほとんど道はありません。細い竹藪（笹か？）を潜り抜け、むかしの作業道跡に出るとそこは藪、藪は棘だらけ、いつもここで軽装できたことを後悔します。厚手の服、革の手袋ぐらいの準備が必要なところです。

やっとの思いで「日新吉良ヶ峰鉾山」に出ます。身体中の傷だらけを堪え、へばりついた草の実、種などを剥がしながら荒倉神社まで進み、なんとかここまでたどり着いたことを感謝し手を合わせます。



・ 神社横の登山口



・ 161mピーク



・ 国道側出口

神社の横の登山口から161mピークへ向かいます。登山口からしばらく道が分かりにくいですがそのうちそれらしくなってきます。ピークを過ぎた下りもどこにでも下れそうで今回は前回と違うルートで下りてきたようです。



・国道横登山口



・三滝ヶ森手前鉄塔から根木谷山

国道56号線から根木谷山への登山口、前は間違っ苦勞したところですが今回は間違いません。ここも初めのうちははっきりしませんが進むに少し道らしくなってきます。ネギ谷口からの道と合流し頂上へ、頂上の看板は今回も無くなったままでした。

頂上から三滝ヶ森方面への下りは何回来ても迷いやすいです。大体右旋回で進むのですがその曲がり方が分かりにくいのです。慎重に道を（道はありませんが）確認しながら進み、予想以上に時間がかかります。トレランどころではありません。谷の手前の鉄塔に出ると後は大丈夫です。



・三滝ヶ森頂上

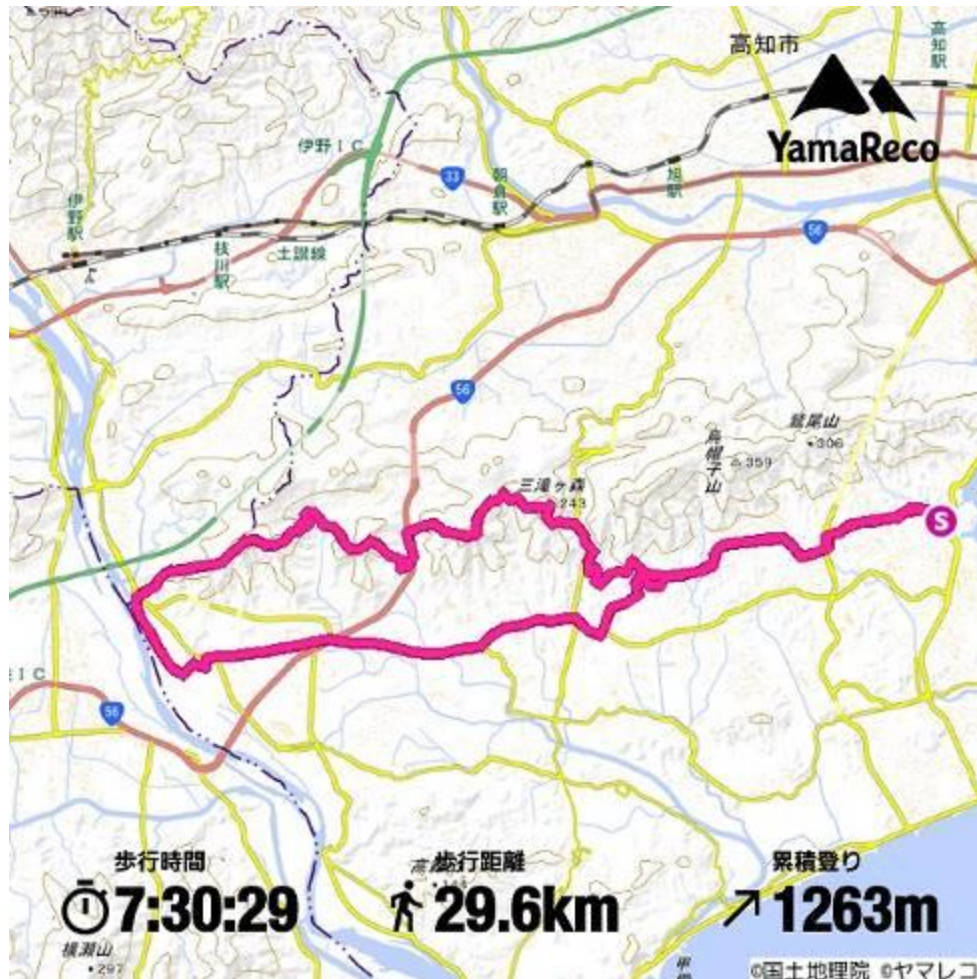


・登山口手前の鉄橋



・春野競技場北口

谷から登り返して三滝ヶ森頂上へ、この辺りも前回近道をしようとして道に迷ったところです。「こんなところで道に迷うか・・・」と言ったところですが今回は道を外さず慎重に進みます。三滝ヶ森頂上到着で既に14時、この辺りで今日の全山縦走はあきらめ気味になってきています。とりあえず登山口まで下り競技場へ着いたのが14時半、ここから柏尾山に登り孕東口まで進むと17時にはなりそうです。この季節無理は禁物とあっさり諦め下道で帰ることとします。



・今回のログ（ヤマレコより）

今回も手強い南嶺西部の山々に阻まれ全山縦走は達成できませんでした。季節を選び、服装装備を整え、再チャレンジをしたいと思います。楽しみが残ったということで次回頑張ります。

これからも楽しい山行を計画しましょう。

国吉